

埼玉グローバル賞 受賞者一覧（敬称略）

（令和5年度：団体3）

団体名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	埼玉県立狭山工業高等学校 「狭紅茶イベント班」 （狭山市）	狭山茶を使ったオリジナル和紅茶「狭紅茶」の開発に高校生が産学官連携で取り組み、国際コンクール入賞を通して、県産品の海外展開に貢献。さらなる世界への躍進も期待。
(2)未来への投資	株式会社 日さく （さいたま市）	世界40か国以上の開発途上国において、地下水開発事業等の展開を通して、現地で安全な水の供給を担える高い技術力を持った人材の育成に貢献。
(3)地域国際化	特定非営利活動法人 川島町国際友好プラザ （川島町）	外国人と日本人が対等な立場で繋がれる「居場所づくり」を大切にして、日本語教室の運営や子ども支援、交流事業、行政との協働事業等を展開し、多文化共生の地域づくりに貢献。

（令和4年度：団体3）

団体名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	株式会社 金子製作所 （さいたま市）	海外展示会への継続的な出展を通じて高い技術力をアピールし、世界の医療現場等を支える部品を供給。
(2)未来への投資	松本興産株式会社 （小鹿野町）	タイ現地法人で現地スタッフの教育や経営のローカル化を進めることで定着率の高い職場環境を実現するとともに、同国の長期的な産業振興にも寄与。
(3)地域国際化	埼玉日本語ネットワーク （上尾市）	県内で活動する日本語教室のネットワークを構築し、指導者向け研修会を行うなど、外国人が安心して暮らせる地域づくりを30年に亘り実践。

(令和3年度：団体3、個人1)

団体名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	株式会社きぬのいえ (寄居町)	昭和12年創業。自社ブランド「オーロラ染め」の海外展開に取組、寄居発ブランドを発信するほか、2020年からは衣服等の染め直し事業「SOMA Re: (ソマリ)」を立ち上げた。地域の技術を受け継ぎ海外に発信するとともに、SDGsの視点を取り入れた新たなサービスの提供に挑戦している。
(2)未来への投資	NPO法人AEA (熊谷市)	行政・大学・民間等と連携し、英語や異文化に触れる機会を創出しているNPO法人。家族ぐるみで外国人ボランティアガイド体験やラグビーワールドカップにおける埼玉の魅力発信などを通じて実践的な英会話を学ぶ場を子供に提供し、海外に関心を持つ人材の育成に貢献している。
(3)地域国際化	特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター (ふじみ野市)	富士見市・ふじみ野市・三芳町並びに周辺地域に住む外国にルーツを持つ人たちの自立を支援するNPO法人。1997年から約25年にわたり、日本語学習支援や生活相談、フードバンクなど多様なニーズに応える活動を継続。外国人住民に寄り添い、地域に根差した多文化共生を実践している。
(4)地域国際化	マガラゲ・ペレーラ・ チャンディカ・サマンタ (川越市)	スリランカ出身。1997年に留学生として来日し、以来県内在住。現在は川越市内で紅茶等の輸入販売に従事。スリランカの紅茶を日本に伝えるだけでなく、スリランカに狭山茶を紹介するなど、お茶（狭山茶と紅茶）を通じた地域交流により日本とスリランカの友好関係に寄与している。

(令和2年度：団体3)

団体名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	株式会社 武蔵野ユニフォーム (行田市)	衣料品（作業服、白衣、事務服など）の卸・販売業。 2012年から行田市の地場産業である「足袋」に着目し世界に向けた情報発信「サムライ足袋プロジェクト」を実施。 洋装にも合うデザインの足袋を市内の足袋業者に製造依頼し、新分野で事業展開。 海外の実店舗での販売、日本展に合わせたファッションコンテスト開催など足袋の認知度を高めるとともに、足袋産業の活性化にも寄与。
(2)未来への投資	一般財団法人 CHANGアジアの子供財団 (川口市)	「途上国の子供たちの将来の自立」を目的に活動。 カンボジア・タイ・ラオス・ベトナムの、孤児院やスラムの子供たちの生活と教育を支援。 孤児院やスラム出身の子供たちの、高校・専門学校への進学や、日本での就職を実現。 現地で学習塾や職業訓練施設等を運営し、子供たちの自立を支援。
(3)地域国際化	イーグルバス株式会社 (川越市)	川越等県西部地域を商圏とした送迎バス・観光バス会社。 2006年に、大手バス会社が赤字撤退する路線を引き継ぎ、路線バス事業に参入。 多言語で「バスの乗り方」パンフレットを作成するなど、外国人観光客に生活路線バスの利用を促し、地域の活性化と公共バスの維持を同時に実現。 また、地域の英語コミュニケーションコンテストを市内の他の公共交通事業者と連携して支援し、川越市の国際観光都市化を推進。

(令和元年度：個人2、団体1)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	柴田 晶子 (さいたま市)	世界でも珍しいプロの“口笛奏者”として海外公演を実施。国際的な口笛コンクールの審査員としても活躍。 国際的な口笛コンクールで3度の優勝を果たす。高齢者福祉施設等で無料コンサートを開催するなど、口笛を通して地域社会に貢献。
(2)未来への投資	大宮アルディージャ (エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ株式会社) (さいたま市)	2014年10月からラオス、タイを皮切りに東南アジア諸国を中心としたサッカー教室を開催。 他のプロスポーツ団体に先駆けて、JICA、(独)国際交流基金、JETROなどの国際関係機関を巻き込み、サッカーを通じた国際貢献活動を実施。
(3)地域国際化	松尾 恭子 (三芳町)	公益社団法人国際日本語普及協会の日本語教師として4か国語の対訳付きの日本語学習補助教材「彩(あや)と武蔵の学習帳」の作成に協力。 また、日本語がわからない子供のため「こども日本語学習クラブ」を開設。 各地の日本語教室への協力と、外国にルーツを持つ子供のために、日本語学習補助教材「彩(あや)と武蔵の学習帳」の作成や、高校進学のための相談会の実施に尽力。

(平成30年度：個人1、団体3)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	株式会社 協同商事 (川越市)	クラフトビール「COEDO」を醸造し、積極的な海外展開を実現。世界的なビールコンテストとして知られるワールドビアカップやヨーロッパアンビասターアワードなど世界の品評会で多くの賞を受賞している。
(2)世界への挑戦	林田 ひろゆき (上尾市)	和太鼓奏者で、肩から太鼓を下げて演奏する「かつぎ桶太鼓」の第一人者。数々の国際的イベントで演奏を行うほか、和太鼓の普及活動に携わる等、世界34か国で活躍している。
(3)未来への投資	特定非営利活動法人 エクアドルの子ども のための友人の会 (飯能市)	エクアドルの中学生・高校生を対象とした奨学生プログラム及び現地の教師や保護者と連携した学校菜園、栄養改善などの教育環境改善事業を実施している。
(4)地域国際化	特定非営利活動法人 NGO多文化 共生協働 センター・川口 (川口市)	外国籍の人たちの自立支援を目指し、行政や関係団体などと連携し協働事業を促進。地域貢献する人材を育成する川口市盛人大学国際コースの企画・運営など、多文化共生社会の実現に向けたまちづくりに貢献している。

(平成29年度：個人1、団体3)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	山中 信人 (北本市)	15歳で単身青森県に渡り、4年間の修行の後、津軽三味線山田千里流師範となる。海外公演で積極的に津軽三味線の演奏を行うほか、世界大会では2連覇を果たすなど、国内外で高い評価を受けている。
(2)未来への投資	特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV- JAPAN (さいたま市)	1988年に会を設立し、タイの職業訓練から活動を開始。その後、更に貧しいラオスの状況を知り、1994年からラオスへ支援を拡大。30年にも及ぶ支援活動を継続している。学校建設等による教育支援のほか、職業訓練事業も実施している。
(3)未来への投資	NPO法人 YOU&MEファミリー (草加市)	2007年に任意団体として活動を開始。「教育こそが、未来をつくる」をモットーとし、バングラデシュのガジプール地域において多様な教育的支援を行っている。
(4)地域国際化	芝園団地自治会 (川口市)	団地に住む外国人住民の増加に対応し、地元組織や大学生ボランティア「芝園かけはしプロジェクト」と協働して、多文化に開かれた自治会づくりを推進。外国人住民の多様性を活かす取組を積極的に実施している。

(平成28年度：個人2、団体2)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	株式会社 UCHIDA (三芳町)	炭素繊維強化プラスチックマニファクチャラーとして、国内初最先端プレスシステムを導入。次世代の環境へ配慮した分野に挑戦している。
(2)未来への投資	今泉記念ビルマ奨学会 (鶴ヶ島市)	会長である今泉氏自ら私費を投じミャンマーからの留学生に奨学金を支給。現在も同国での図書館建設等の支援活動を継続している。
(3)未来への投資	名知 仁子 (狭山市)	国境なき医師団に参加した後、ミャンマーの農村部で巡回診療と保健衛生指導を無料で実施。人間の命を考える機会を作り、問題解決の姿勢を定着させる取組を実践している。
(4)地域国際化	ハ須ナンシー・シングル トン (神川町)	英語と自然環境の中で子供を育てる教室を開設する一方、和食を世界に広める活動を展開。田舎暮らしの素晴らしさ、和食の奥深さを広く発信している。

(平成27年度：個人2、団体1)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	加藤 初治 (さいたま市)	54年にわたり、埼玉が世界に誇る「盆栽」を通じ、日本文化を海外に広める活動を行う。海外からの研修生を積極的に受け入れるなど、国内外の盆栽師の育成指導を行っている。
(2)未来への投資	與座 卓 (狭山市)	30年間にわたり、ボランティア精神に基づき、国際協力活動を行う。ラオスの健康診断やエチオピアの予防接種プロジェクトなど、64か国の国々で保健医療活動を展開している。
(3)地域国際化	特定非営利活動法人 街のひろば (三芳町)	18年にわたり、日本語を母語としない、外国人の児童や生徒に対し、学習支援や生活支援を続け、その地道な活動によって、多文化共生社会の実現に大きく貢献した。

(平成26年度：個人1、団体2)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	松浦 豪 (春日部市)	目標に向かって日々努力を重ねることの大切さを実践し、ワールド・ヨーヨー・コンテスト5連覇などにより、青少年に大きな影響を与え、積極果敢にチャレンジする素晴らしさを県民に示した。
(2)未来への投資	さいたま市立 浦和高等学校 インターアクト部 (さいたま市)	多年にわたり、国際交流活動に尽力し、英語ディベートを通じてグローバルに活躍できる、国際性豊かな人材の育成に取り組むことの素晴らしさを県民に示した。
(3)地域国際化	地球っ子クラブ 2000 (さいたま市)	多年にわたり、外国人住民に対し日本語の習得支援をはじめとする多種多様な支援を続け、地道な活動により地域の国際化の重要性を県民に示した。

(平成25年度：個人1、団体2)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	山北 由香 (所沢市)	バルーンアートという分野で、今までにない作品を創作するとともに、世界大会で優勝するなど、世界を舞台に活躍し、積極果敢にチャレンジする素晴らしさを県民に伝えた。
(2)未来への投資	カネパッケージ株式会社 (入間市)	多年にわたり、国際貢献活動に尽力し、環境保全活動や人材育成を通じて、諸外国の未来を創造する活動を行うことの素晴らしさを県民に伝えた。
(3)地域国際化	蓮田日本語教室 (蓮田市)	多年にわたり、外国人住民に対し日本語の習得及び学習支援に尽力しており、地道な活動により地域の国際化の重要性を県民に示した。

(平成24年度：個人2、団体1)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	肥土 伊知郎 (秩父市)	地元こだわったウイスキー造りに取り組み、海外の評論家や専門家が選ぶ世界的コンテストで入賞を果たすなど、こだわりのブランドで果敢に世界に挑戦し、チャレンジする素晴らしさを伝えた。
(2)未来への投資	須崎 勝茂 (さいたま市)	多年にわたり、若いアーティストを支援し、世界を舞台に活躍できるよう支援し続け、グローバル人材の育成を行うことの素晴らしさを示した。
(3)地域国際化	多文化共生広場 (さいたま市)	多年にわたり、大学と市民の連携により外国人住民に対する日本語の習得及び教科学習の支援に尽力し、地域の国際化に多大な貢献をした。

(平成23年度：個人2、団体1)

団体又は個人名		主な活動内容・受賞理由
(1)世界への挑戦	山内 達哉 (新座市)	ヴァイオリンと尺八などを用いた独特のスタイルで、日本古来の文化の深さを世界に発信する努力を続けており、世界を視野にチャレンジする素晴らしさを伝えた。
(2)未来への投資	アクリ・堀本 バレエアカデミー (さいたま市)	多くの生徒を世界各国のバレエスクールの奨学生として留学させ、海外の舞台で活躍するプロを輩出するなど世界を意識した人材育成の素晴らしさを示した。
(3)地域国際化	斎藤 俊男 (上里町)	多年にわたる日系外国人の立場に立った自立支援を通し、外国人住民と日本との橋渡しに力を尽くし、地域の国際化に多大な貢献をした。